

東日新聞

TONICHI NEWS

地域を笑顔に

- 2 地域活性化コンソーシアムin豊商
- 7 ●●で学芸員の研究成果紹介展
- 3 技科大が仮想歩行体験システム開発
- 10 豊川市内でこいのぼり悠々
- 6 田原市教委が戦争遺跡リーフレット制作
- 11 GW期間に乳岩峡の交通規制

発行者/東海日日新聞社 <https://www.tonichi.net>
〒440-0874 愛知県豊橋市東松山町90番地 TEL.0532-53-2800 FAX.0532-53-7222 E-mail post@tonichi.net

オオタザクラ御披露目と説明板除幕

成章高 同窓会 同窓生の協力で植樹かない「絆のサクラ」と紹介

田原

日本のボタニカルアート(植物画)の先駆者・太田洋愛(1910〜88年)によって発見され、ゆかりの地からの提供で植樹されたオオタザクラのお披露目と説明板の除幕式が30日、太田さんの母校である田原市の成章高校であった。植樹にあたって同窓会役員は同窓生が連絡を取り合う「リレー」で実現したことなどで「絆のサクラ」と紹介した。

■大先輩の魅力
植樹は成章高創立120周年の記念事業の一つ。同窓会会長で実行委員長は石黒功委員長は動画で、「絆のサクラ」の呼び名について「同窓生の協力でオオタザクラの植樹がかなったから」と説明。「大先輩の太田さんが(ゆかりの地と)つないだ絆を(後輩の)同窓生がつなげていきたい」と呼びかけた。太田

さんの偉業の足跡を言及した市博物館の増山禎之館長は、「オオタザクラの発見につながった観察や努力に魅力があったと思う」と語った。



オオタザクラの説明板の除幕式(左から岡本生徒会長、武山さん、石黒委員長、鈴木PTA会長、青山校長、前田生徒会副会長)

動画は同窓会幹事の小川金一さんらによって編集された。見ごろのピークを迎えたオオタザクラや植樹風景が映し出され、ピアノ伴奏で校歌が流れる。校長室や会議室で同窓会顧問の山下政良市長やPTA役員らが、各教室や体育館で生徒がそれぞれ動画の映像を熱心に見ていた。

ボタニカルアーティスト(植物画)の分野を開拓した。19歳で中国東北部(旧満州)に渡り、植物学者大賀一郎の指導で植物画の技法を学んだ。

全国各地を旅して桜を研究した。著作に共著で「日本桜集」、「原色図譜園芸植物」の原画などがある。NHKテレビの「趣味の園芸」のテキスト創刊時の表紙を飾った。田原町(田原市)出身。



動画の映像を眺める生徒(いずれも成章高校で)

■10月、記念式典
動画を見た後、中庭で同窓生ら約50人が披露された薄紅色のオオタザクラを眺める中で、石黒会長や青山校長、鈴木章之PTA会長、生徒会の岡本幸樹会長と興じた成章館。以来、数々の変遷をたどり、48年に県成章中から学制改革で現在の高校となり、これまでに約2万5000人が卒業している。10月20日、記念式典を開く。

聞いた同窓会副会長で成章高の鈴木雅也・元校長が石黒会長へ伝えたことで、3月末に中庭に植樹された。

成章高は、江戸後期の藩校の流れをくむ。前身が1901(明治34)年に再興した成章館。以来、数々の変遷をたどり、48年に県成章中から学制改革で現在の高校となり、これまでに約2万5000人が卒業している。10月20日、記念式典を開く。

前田真優副会長、武山さんの6人が説明板を除幕した。植樹のきっかけをつくれた武山さんは「感無量」と感激し、「動画を見て、人々の絆が重要だと教えられた」と話した。